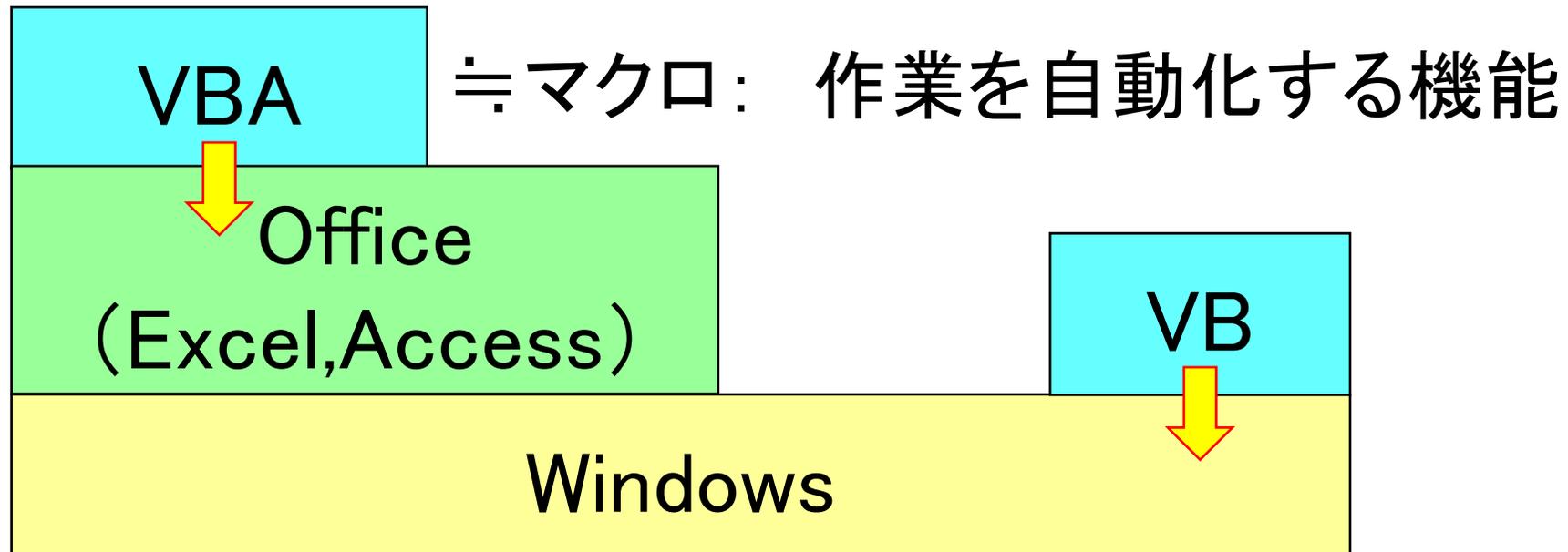
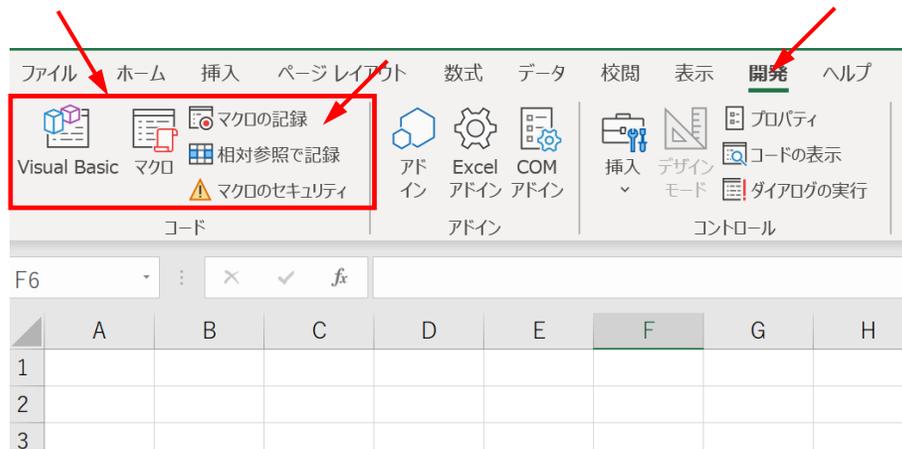


VBA (Visual basic for Applications)

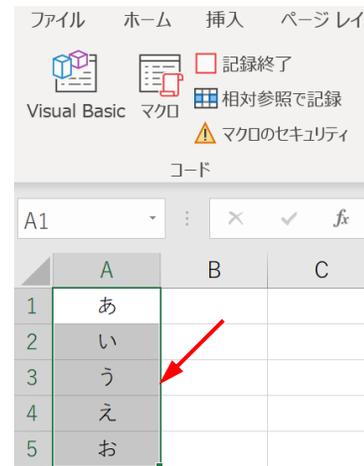
VB (Visual basic)



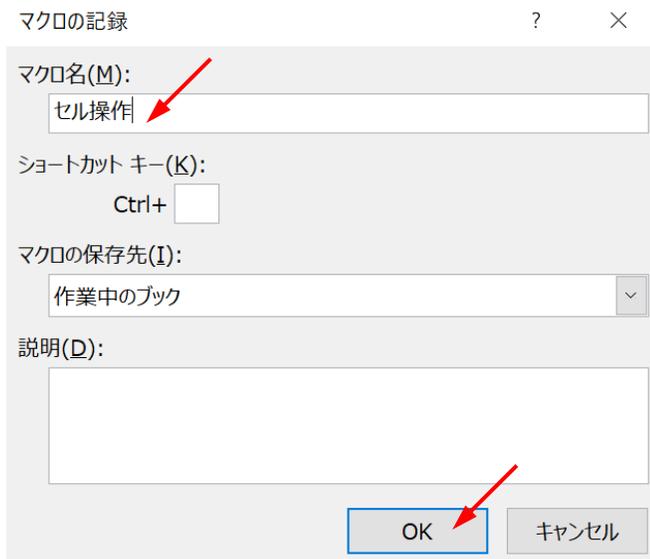
①「開発」をクリックしてマクロがあるか確認
表示がない場合は、次ページ参照



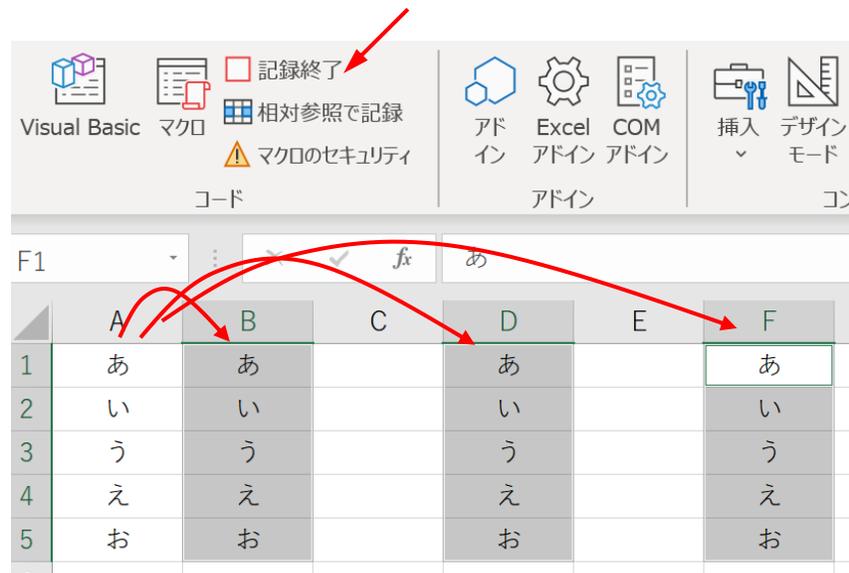
②A列に「あいうえお」と記入



③マクロの記録をクリック
マクロ名を入れ、OK



④A列をCtrl・CでコピーしてCtrl・VでB・D・F列に
ペースト→ 記録終了



「マクロ」の表示が無い場合

ファイル→その他→オプションをクリック



アドイン→分析ツール・VBA→設定をクリック

Excel のオプション

- 全般
- 数式
- データ
- 文章校正
- 保存
- 言語
- 簡単操作
- 詳細設定
- リボンのユーザー設定
- クイック アクセス ツール バー
- アドイン
- トラスト センター

Microsoft Office のアドインの表示と管理を行います

アドイン

名前 ^
アクティブなアプリケーション アドイン
ソルバー アドイン
分析ツール
分析ツール - VBA
アクティブでないアプリケーション アドイン
Euro Currency Tools
Inquire
Microsoft Actions Pane 3
Microsoft Data Streamer for Excel
Microsoft Power Map for Excel
Microsoft Power Pivot for Excel
Microsoft Power View for Excel
日付 (XML)
ドキュメント関連アドイン
アドイン: 分析ツール - VBA
発行者:
互換性: 互換性に関する情報はありません
場所: C:\Program Files (x86)\Microsoft Office
説明: 分析ツールの VBA 関数

管理(A): Excel アドイン 設定(G)...

チェックを入れてOKをクリック

アドイン

有効なアドイン(A):

- Euro Currency Tools
- ソルバー アドイン
- 分析ツール
- 分析ツール - VBA

OK

キャンセル

参照(B)...

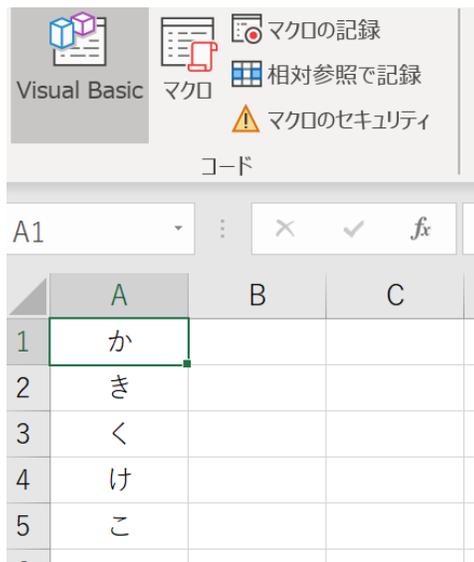
オートメーション(U)...

ソルバー アドイン

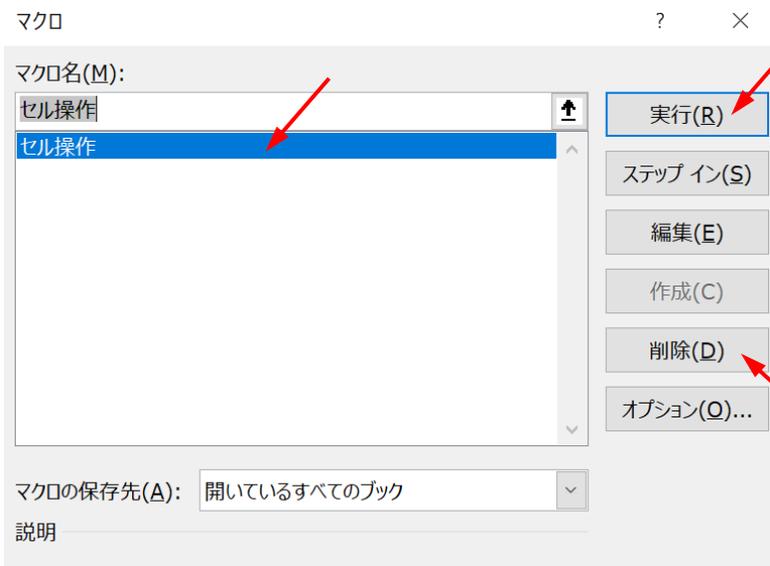
最適化に関する数学的な手法を用いて、指定された範囲で最善の解を求めます

前ページの①へ進む

⑤A列に「かきくけこ」と記入して マクロをクリック



⑥「セル操作」選択→実行クリック



マクロ削除の時、クリック

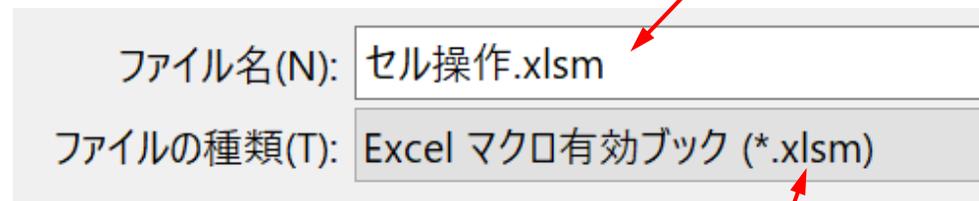
実行結果

	A	B	C	D	E	F
1	か	か		か		か
2	き	き		き		き
3	く	く		く		く
4	け	け		け		け
5	こ	こ		こ		こ

マクロ付きファイルの保存



⑦ファイル→名前を付けて保存→
参照→ファイル名入力→
Excelマクロ有効ブック(*.xlsm)を選択
→保存



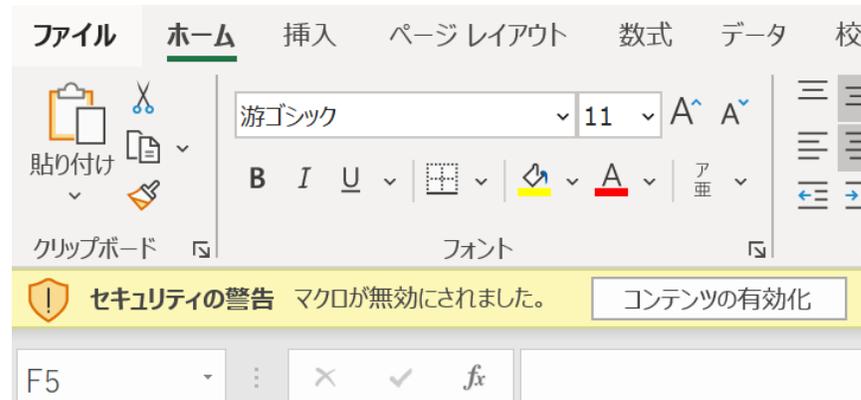
拡張子がxlsxではなくxlsmです

マクロのセキュリティー設定

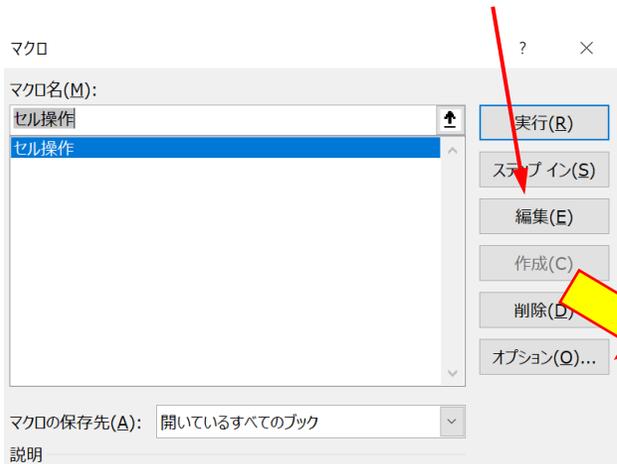
「マスクのセキュリティー」選択→「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」にチェック→OK



保存ファイルを開く際に、「コンテンツの有効化」クリック



⑧ マクロ→編集をクリック



今回のモジュール →

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) デバッグ(D) 実行(R) ツール(T) アドイン(A) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

プロジェクト - VBAProject

- atpvbaen.xls (ATPVBAEN.XLAM)
- Solver (SOLVER.XLAM)
- VBAProject (Book1)
 - Microsoft Excel Objects
 - Sheet1 (Sheet1)
 - ThisWorkbook
 - 標準モジュール
 - Module1
- VBAProject (FUNCRES.XLAM)

プロパティ - Module1

Module1 Module

全体 | 項目別

(オブジェクト名) Module1

```
Sub セル操作 ()  
    セル操作 Macro  
  
    Range("A1:A5").Select  
    Selection.Copy  
    Range("B1:B5, D1:D5, F1:F5").Select  
    Range("F1").Activate  
    ActiveSheet.Paste  
End Sub
```

今回記録されたマクロのVBA内容

```
Sub セル操作 ()
```

```
,'  
,  
,  
,
```

```
セル操作 Macro
```

```
Range ("A1:A5"). Select
```

```
Selection. Copy
```

```
Range ("B1:B5, D1:D5, F1:F5"). Select
```

```
Range ("F1"). Activate
```

```
ActiveSheet. Paste
```

```
End Sub
```

A列を選択

選択セルをコピー

B列、C列及びD列を選択

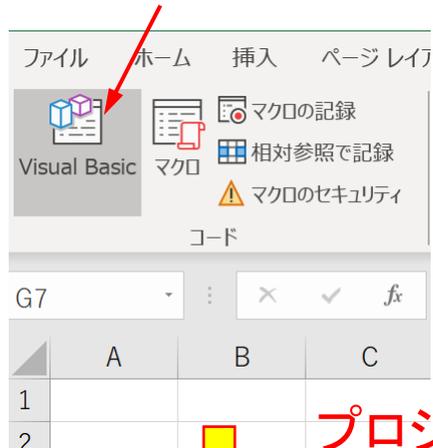
セルF1がアクティブ 不要

選択した列に貼り付け

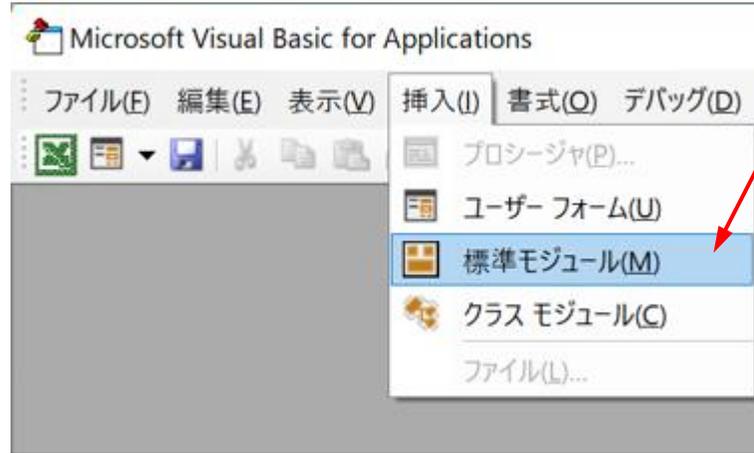
マクロ記録でできないこと

- ・条件分岐、繰返し操作
- ・変数を使った処理

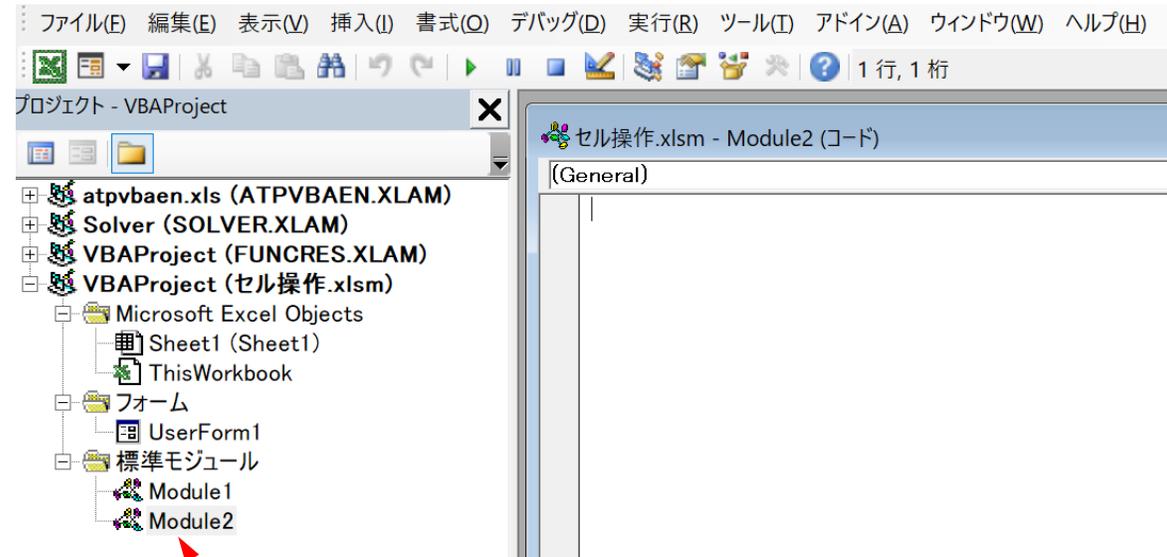
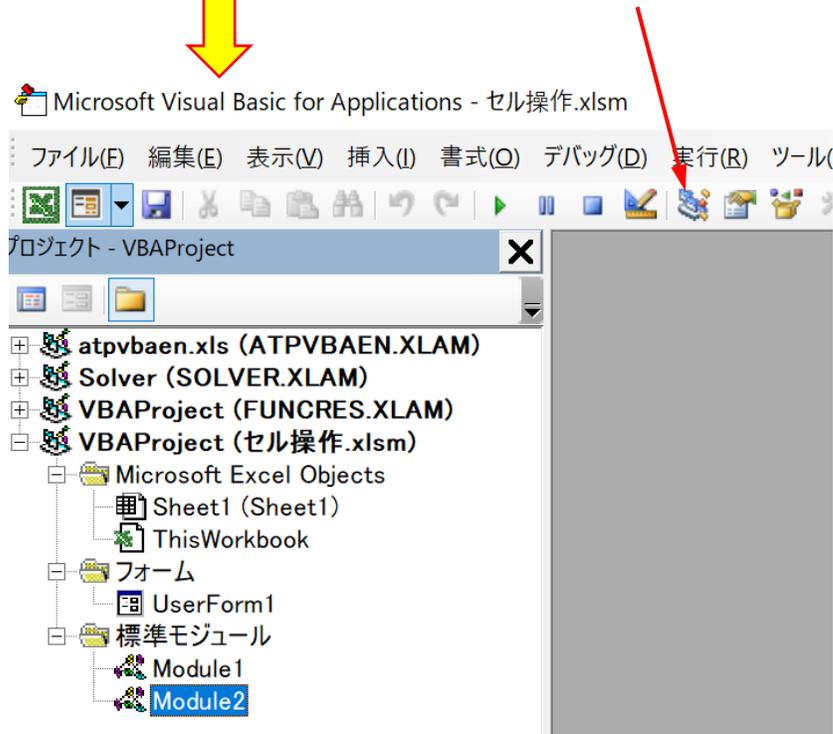
Visual Basicをクリック



挿入→標準モジュールをクリック



プロジェクトエクスプローラーをクリック



今回作成する新しいモジュール

セル操作.xlsm - Module2 (コード)

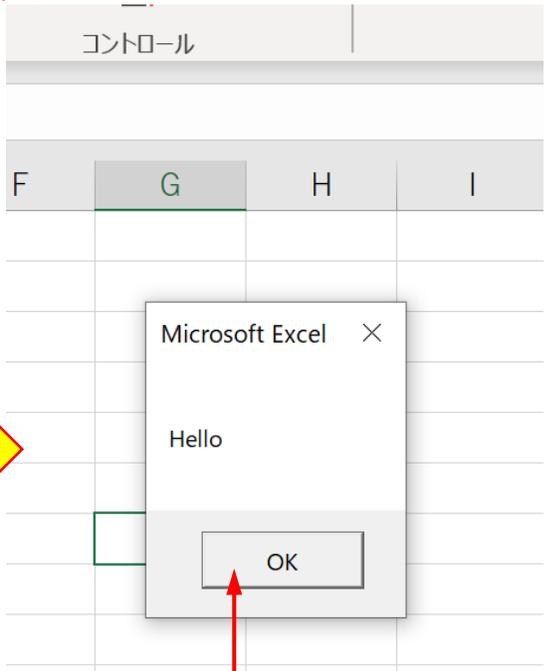
```
(General)  
Sub Message()  
End Sub
```

Sub Message()と入力すると自動的にEnd Subが1行空けて表示るので空いた行にコードを入れる。今回は、MsgBoxと入れると入力例が表示

```
Sub Message()  
MsgBox  
End MsgBox(Prompt [Buttons As VbMsgBoxStyle = vbOKOnly], [Title], [HelpFile], [Context]) As VbMsgBoxResult
```

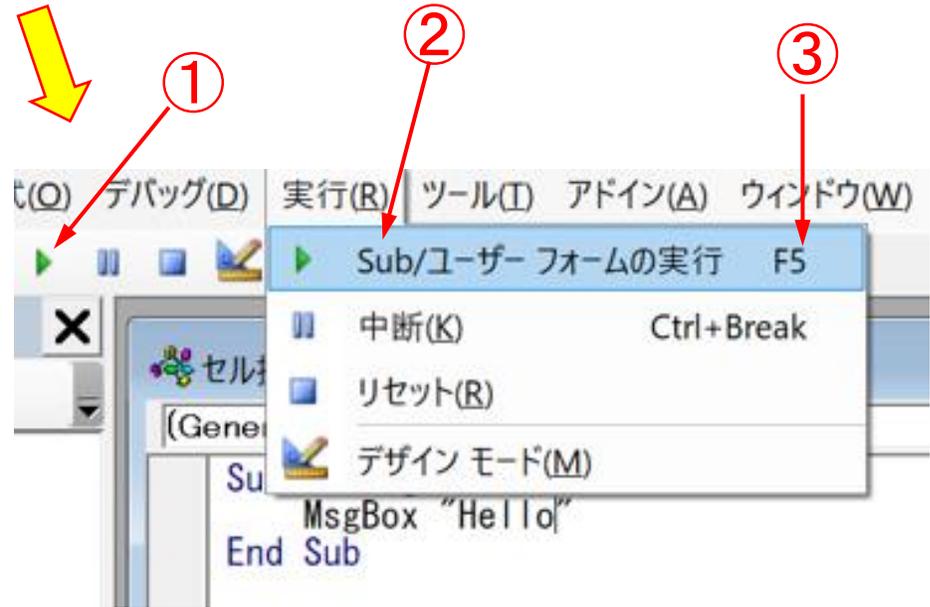
```
Sub Message()  
MsgBox "Hello"  
End Sub
```

Excel画面にメッセージボックスが表示



実行は、以下の方法がある

- ① ▶
- ② 実行 → Sub/ユーザーフォームの実行
- ③ F5



OKクリックでVBE画面に戻る

